

# 笑ってごらん

第 544 号 H. 28. 3. 15 発行

～今日のことば～

親が我が子に残したいのは、  
誠実な生き方。ただそれだけ…。



◇◆1日の感動的な卒業式を終え、なんだか学校内が一気に淋しくなった感がある。卒業する人あれば、また4月に新しく入学してくる人もいる。この1ヶ月間、学校は年度の締めくくりと新入生を迎える準備に慌ただしい様相を見せることになる。 ◆卒業式の余韻も束の間、早速3日から「専門課程入学準備セミナー」が始まった。看護学科専門課程における生活は高校とは異なる点が多い。授業・講義も学年全員もしくは半数が一堂に会して90分単位で進められる。少しでも4月からのスタートがスムーズなものになるよう、「セミナー」で練習しておくのだ。4日は武道館で『全県下統一模擬試験』を実施した。これは看護師5年一貫教育制度が始まった時から行っているもので、既に12年目を迎えた。当初は鹿児島県内私立5校で始めたものだったが、今や九州地区一円に広がっている。今年福岡県の学校が作問した。受験した諸君、手応えのほどは如何だったであろうか。そして、もうすぐ終わろうとしているセミナーで成果を感じることができたであろうか。

◇◆8日から11日まで2年生の修学旅行に団長として随行した。まあ、一言で言えば『大変だった』。初日、「羽田空港が濃霧のため離着陸できない」との理由で、私たち修学旅行団はいきなり鹿児島空港で待機状態となった。その後、私たちが利用する片方の便が欠航となり、一時は「このまま修学旅行中止？」の感もよぎった。運良く一つ前の便に振り替えることができたため、結局3時間遅れの出発となった。さらに、羽田空港に着いてからの移動中、首都高速道路トンネル内での事故により渋滞が発生、結果ホテル到着が19:30頃となり、この日は単純な「移動日」になってしまった。2日目は終日ディズニーランド。朝から曇天、風が出て気温も下がり、昼には予報通り雨が降り出した。夜ホテルに帰ってきた生徒たちの大半は雨に濡れていたもので、引率者としては「風邪をひかなければいいが…」と心配した。ただ、天候が悪くランドを訪れる客はかなり少なかったため、例年に比べ多くのアトラクションを楽しめたと思う。3日目は約2時間かけて日光へ移動。華厳の滝は雪に覆われていた。『プラタモリ』で観たように「紅葉の時期は見応えのある風景だろうな」とも思ったが、目の雪に包まれた絶景に、何だか壮大な水墨画を観ているような印象さえ受けた。東照宮は徳川家光が家康を祀るために1年4ヶ月の時をかけ建立したと言われているが、その大きさ・美しさに生徒たちも皆見とれてしまった。そして、東京へ戻る途中で浅草界限を通過してもらい、スカイツリーや雷門を車窓からながら見学することができた。3泊目のホテルはフジテレビ本社ビルの隣に位置する、かなりグレードの高いホテルだった。素晴らしい調度品の数々や雰囲気、そして夕食会場(29階)からの素晴らしい夜景に皆興奮気味。最終日は横浜・山下公園散策であったが、寒風雨に見舞われ、景色を眺める余裕も無く、修行僧のように寒さに耐えていた。その後は中華街でお腹いっぱい中華料理を堪能できたので満足のような感じだった。 ◆大きな問題行動も無く終えられたことは良かったが、途中インフルエンザを発症した生徒が4人。内2人は保護者に羽田空港まで迎えに来ていただいた。出発前に発症し最初から参加できなかった生徒たちもいた。せっかくの修学旅行だったのに、皆揃って楽しむことが出来なかったことが残念である。



～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．

## 感謝道

◇◆この一年間、あんなことやこんなことなど(紙面の残りスペースが少ないので大幅に割愛)様々なことがあった。本紙を読んでいただいたことにも「大感謝！」である。